

NPO法人日本人間ドック健診協会 会員施設の実態調査 結果報告

■調査の目的

- ・協会会員施設の認定取得状況、
- ・協会への要望、現場で起こっていること等の把握
- ・情報収集ルートの確認 ※2024年度ホームページリニューアル

■アンケート期間

2023年10月10日(木)～10月25日(水)

■調査対象

NPO法人 日本人間ドック健診協会 メール配信登録のある会員施設 **165**施設

■回答施設数 **100**施設 (回答率**60.6%**)

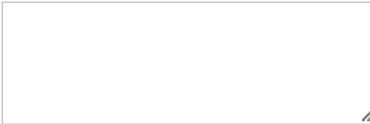
■回答形式

WEB ※回答に要する時間:2分～3分

≫<https://ws.formzu.net/dist/S170334336/>

NPO法人日本人間ドック健診協会 会員施設

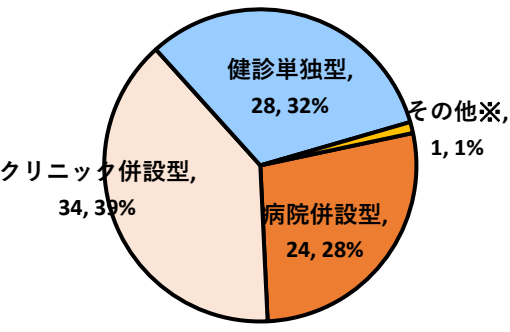
■アンケート項目

Q 1. 施設の状態 必須 ※必須回答   その他の詳細-show	現在、「未認定」の方にお伺いします。 Q 5. 今後、認定を取得する予定はありますか。 ☐ はい（認定取得予定） ☐ 検討中 ☐ いいえ（認定取得の予定はない） その理由 等  	Q 8. 施設認定取得に関する支援サービスがあったら利用したいとおもいますか。 必須 ☐ はい。利用してみたいです。 ☐ いいえ。利用しません。 ☐ どちらともいえない。 ☐ わからない。 自由コメント  
Q 1-2. 年間受検者数（施設内健診） ※任意回答 約 人（半角）		
Q 2. 巡回健診の有無 必須 ※必須回答 ☐ あり  巡回健診「あり」-show ☐ なし	Q 6. 施設認定に関する「お悩み」や「疑問・質問」はありますか。 必須 ☐ ある ☐ ない 機能評価の受審準備を行う上でお悩みの点や、困りごとがあればお書きください  	Q 9. NPO法人日本人間ドック健診協会では、会員様へ提供するサービスコンテンツのさらなる拡充や新たな会員特典制度の開始など、リニューアルに向け検討を進めております。 ●「こんなサービスがあったらいいな」 ●「こんなテーマの研修会なら参加したい」 等、どんな些細なことでも結構ですので、お気軽にお寄せください。
Q 3. 現在、人間ドック学会の施設認定（機能評価）を取得していますか 必須 ☐ はい「認定」 → Q 4 へ ☐ いいえ「未認定」 → Q 5 へ 現在「認定あり」の方にお伺いします。 Q 4. 今後も、認定を継続（更新）する予定ですか。 ☐ はい（更新予定） ☐ いいえ（辞退予定） ☐ 検討中 その理由  	Q 7. あなたは普段、健診の施設運営に関する情報をどこで収集しますか？ 必須 ☐ 組織・施設内の会議 ☐ 各種健診団体のWEBサイト（人間ドック健診協会・人間ドック学会 等） ☐ メール配信 ☐ 厚生労働省および関連サイト ☐ メーカーのサイト ☐ 同業の知人から直接 ☐ SNS ☐ 上記以外の方法 ☐ 情報収集はしない 上記以外の方法 等	例：健診システムに関する相談サービス 他施設の見学会や事例発表 地域交流会 職種別勉強会 オンラインサロン 等々  

NPO法人日本人間ドック健診協会 会員施設態調査

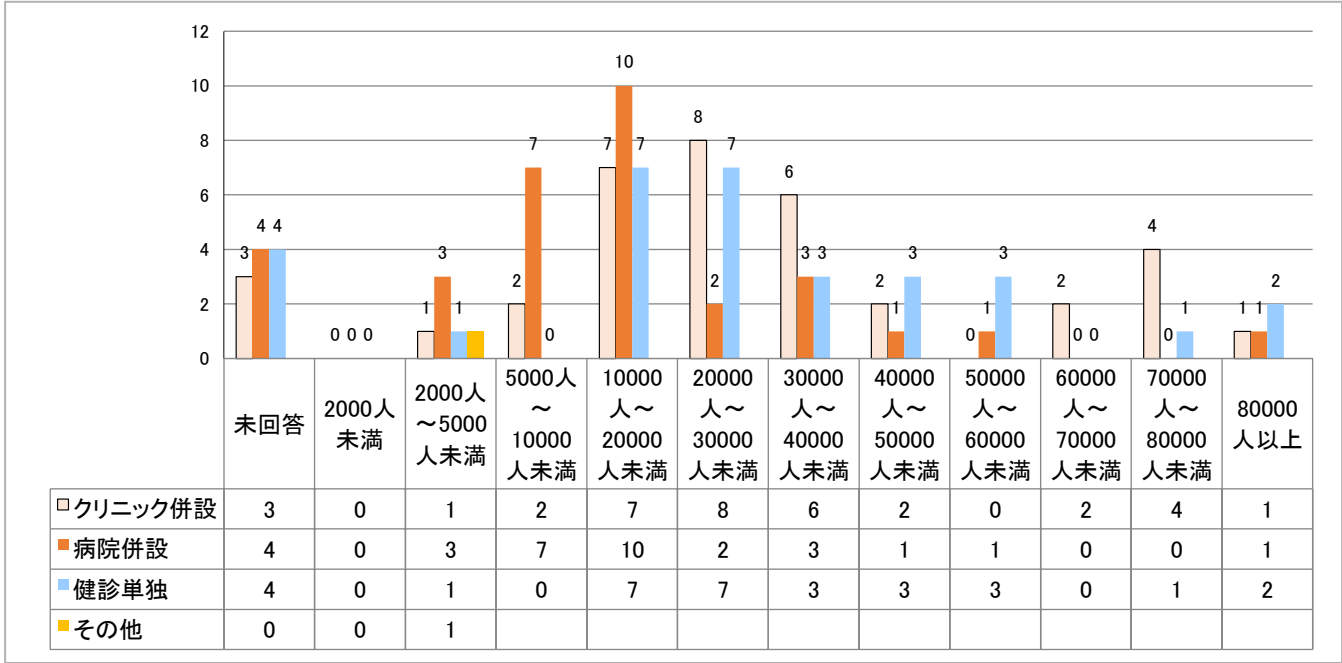
■回答施設の状況（100施設）

Q 1. 施設の形態



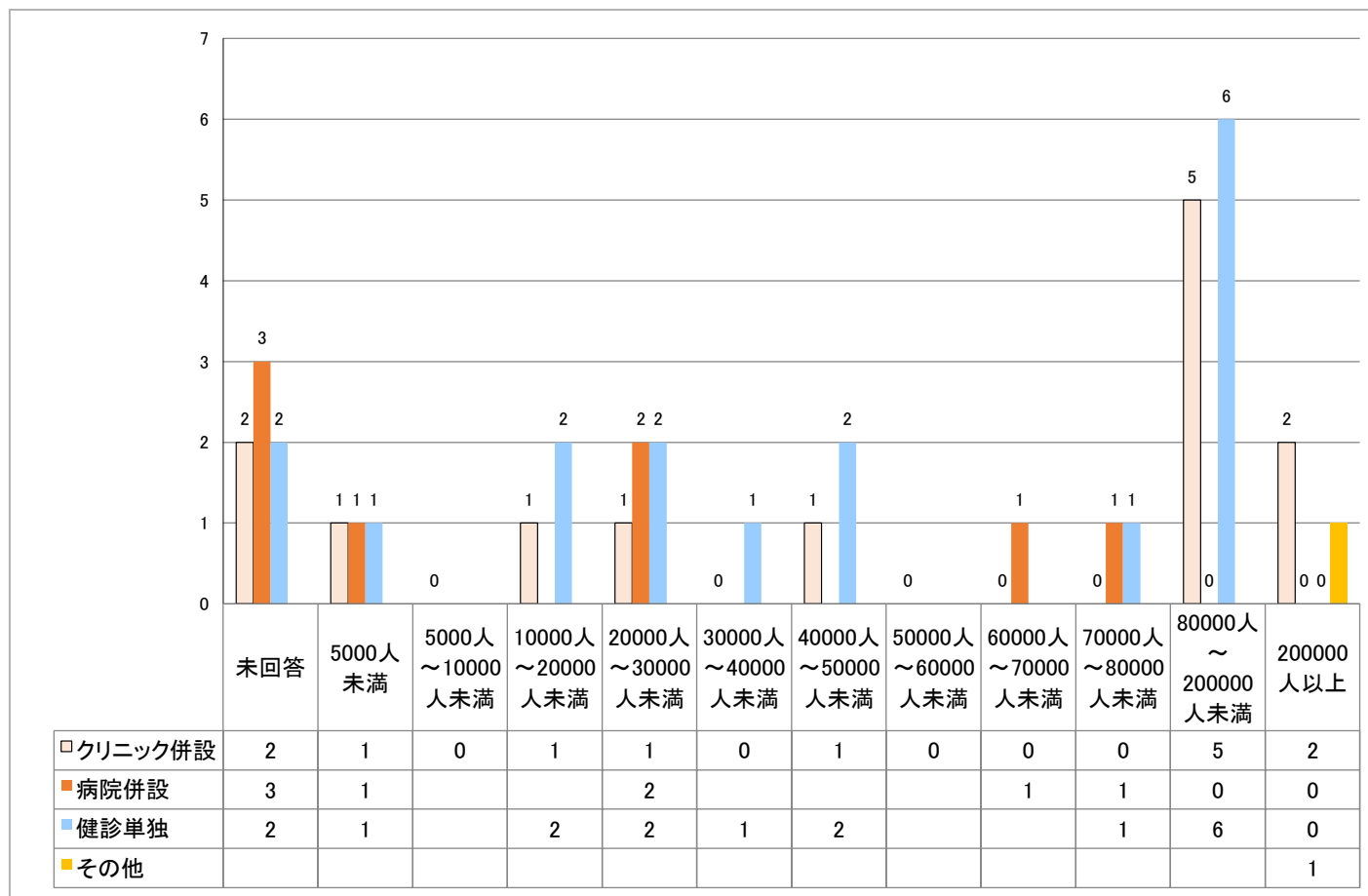
※その他・・・主な事業は、巡回での健康診断事業

Q 1-2. 年間受信者数



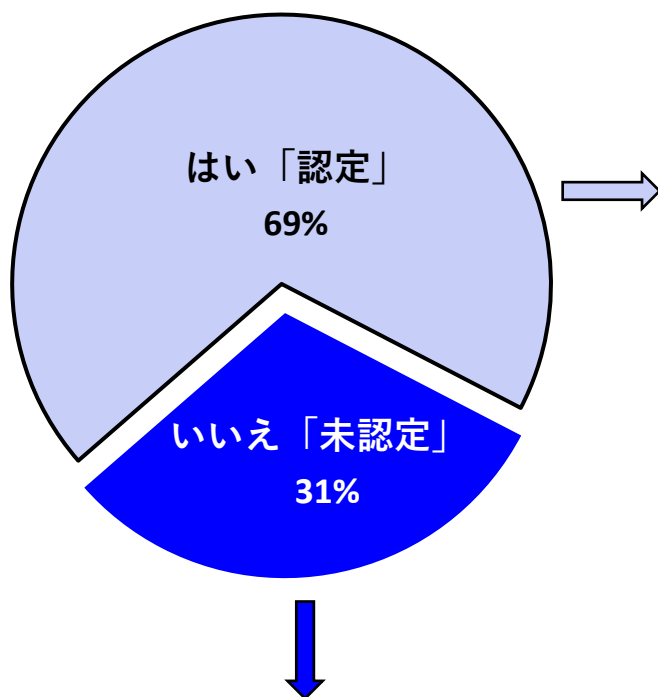
※全会員数（都道府県別） 171施設

北海道 東北	9	関東	88	北陸	5	東海	18	近畿	15	中国・四国	15	九州・沖縄	21
北海道	5	茨城県	8	新潟県	1	岐阜県	3	京都府	4	鳥取県	0	福岡県	8
青森県	1	栃木県	1	富山県	2	静岡県	7	大阪府	8	島根県	1	佐賀県	0
岩手県	0	群馬県	1	石川県	0	愛知県	7	兵庫県	3	岡山県	5	長崎県	3
宮城県	2	埼玉県	7	福井県	0	三重県	1	奈良県	0	広島県	4	熊本県	3
秋田県	1	千葉県	6	山梨県	0	滋賀県	0	和歌山県	0	山口県	0	大分県	2
山形県	0	東京都	44	長野県	2					徳島県	0	宮崎県	0
福島県	0	神奈川県	21							香川県	2	鹿児島県	3
										愛媛県	0	沖縄県	2
										高知県	3		

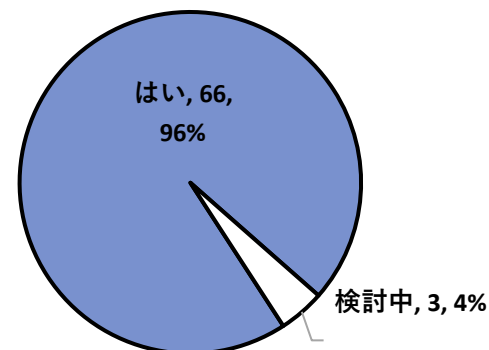


【施設認定取得状況】

Q 3. 現在、人間ドック学会の施設認定（機能評価）を取得していますか



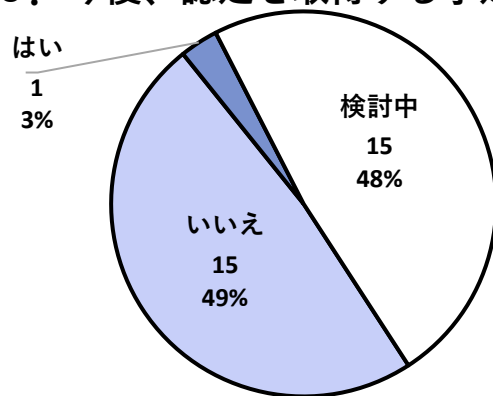
Q 4. 今後も、認定を継続（更新）する予定ですか。



※理由 等

- ・精度管理維持のため
- ・機能評価の認定を受けることで、受診者や保険者等にも安心して受診して頂ける。
- ・人間ドック実施施設として、精度面をはじめとして標準的規格に適合していることを担保するため。
- ・健診施設の質を向上させていく上で機能評価は受診していきたいと考えている。
- ・認定評価施設ということで企業からの健診施設として信頼、安全の信用が担保される。
- ・人間ドック学会の施設契約で企業への営業活動 への効率性
- ・受診者に対する健診の質を上げるために施設職員のモチベーションを上げる一つの指針になるため。
- ・また、対外的にも安心感を持っていただけるため。

Q 5. 今後、認定を取得する予定はありますか。

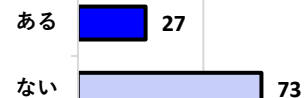


※理由 等

- ・日本総合健診医学会の施設認定を取得している為
- ・費用および認定に際しての手間の関係
- ・巡回健診中心の事業である為
- ・現在、取得に向けての準備時間が取れないため。
- ・日本総合健診医学会に認定の為
- ・日本総合健診医学会の施設認定を取得している為

【施設認定に関するお悩みの有無】

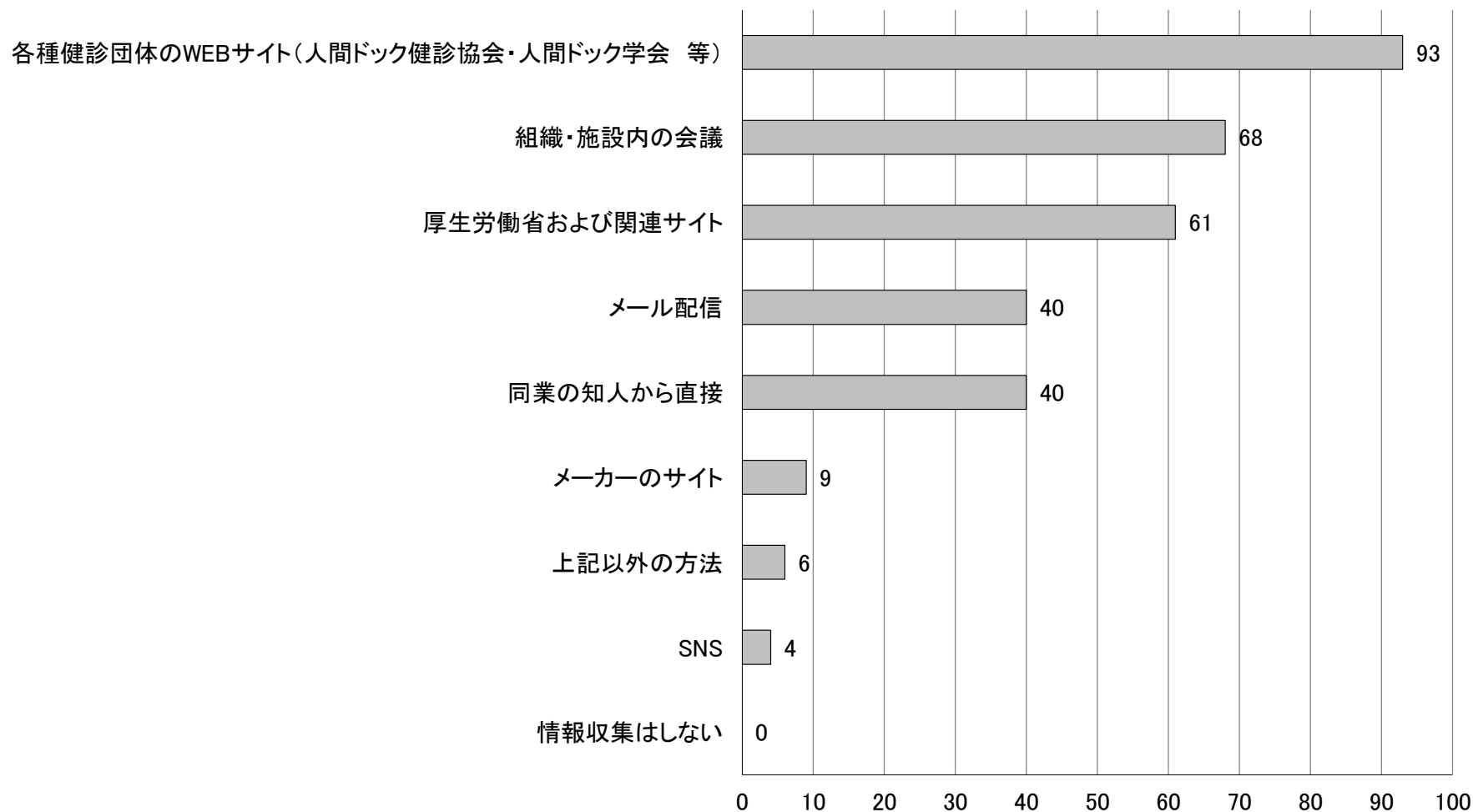
Q 6. 施設認定に関する「お悩み」や「疑問・質問」はありますか。



- ・血液ラボを自施設では併設しておらず、結果、結果説明までに時間を要し、お帰りになってしまいう方が多い実状です。結果説明率を上げる必要がありつつ、ラボがない施設ではなかなかそれも叶わず、認定取得を慮る状況です。
- ・サーベイヤーについて、同業者ではなく学会の職員が直接施設の調査を実施しなければ公平な評価は難しいと思う。この点について、改善をお願いしたい。
- ・各部署ごとに、機能評価受審の担当者を決めているが、各部署内での引継ぎや、進捗などにばらつきがあり、月に1回の受審準備のための全体ミーティングをしているが、なかなかまとまらない。
- ・院内ラボがないため、当日結果説明が困難なこと
- ・業務と並行して準備を行う為、時間の効率化を図るのが難しい点。
- ・集計作業に時間を要する
- ・地域住民への健康教室、健康情報提供などについては必須となるのでしょうか。もしくは受診者に対する情報提供のみで適切となるのでしょうか。
- ・準備に時間がかかる
- ・現時点ではこの項目というはっきりしたものではありませんが、どの項目に対しても人間ドック判定基準のような明確な基準があると、準備をする際に役立ちます。
- ・ベストプラクティスを知りたい。
- ・受審日の設定。前以て受審日を設定する事で、会議室、予約調整等がスムーズに行える。
- ・資料作成に基づき、かなりの資料の提出があり、スタッフへの負担が大きい。事務、コメディ、看護その他、自身の仕事を行いながら対応するので、それに費やす時間が多くなり、残業時間の増加につながっている。簡素化できれば、お願いいたします。
- ・施設オリジナルの人間ドックに、人間ドック学会の項目すべて網羅されていないと認定は取れないのか。実施できる環境があればオリジナルの人間ドックとの項目に差異があっても認定可能か。
- ・認定受験準備に時間を費やす（仕方ないと思いますが）?認定施設として更なるメリットがあると尚良いと思う
- ・作業量が多い
- ・人間ドック受診件数500件以上/年という条件をクリアするのが難しい
- ・受診者数を増加させると、結果説明率と精検フォローアップ率が下がるというジレンマくらいです。スタッフの審査へのモチベーションが高すぎて、良い評価を得られなかったときが不安です。
- ・人材確保がうまくできなかったため、体制的にまだ未熟な点が多い。
- ・病院併設型施設であるため、医師を含む医療スタッフの移動がありスキル維持することが大変である。このため看護師にも人間ドックアドバイザーの更新を認めてほしい。また、各種調査に協力しているが、調査によってはシステム改変が必要な場合もあり困惑している。
- ・定期的にversionアップする為、変更点を確認して、前から準備をしておくことが必要であるが、日頃から受診（更新）を意識した体制作りが難しい点がある。
- ・他施設様の取り組み事例、工夫点、課題等について情報共有できると嬉しいです。
- ・施設の老朽化。従事スタッフの確保
- ・書類などの準備に時間を要してしまう。効率の良い保存法などあれば学びたい。

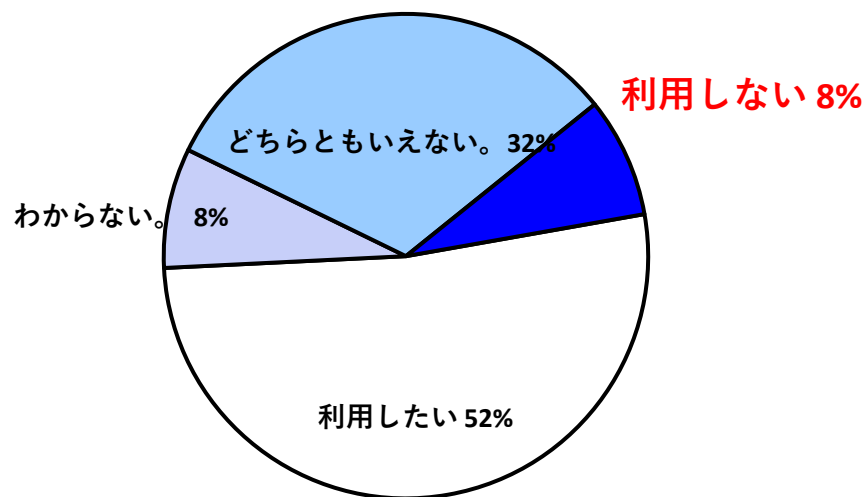
【情報の収集ルート】

Q 7. 情報の収集ルートは何ですか。（複数回答可）



【施設認定取得に関する支援のニーズ】

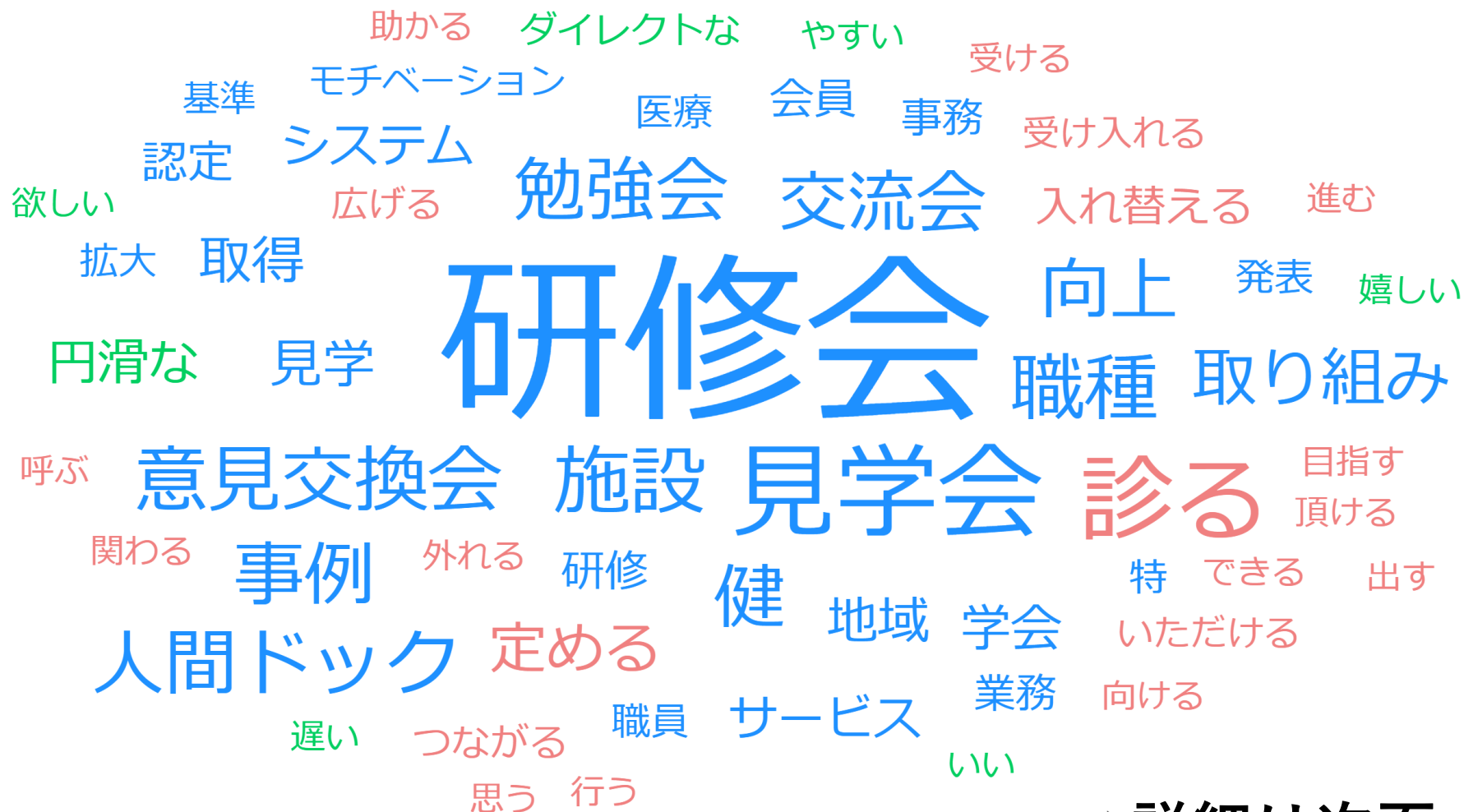
Q 8. 施設認定取得に関する支援サービスがあったら利用したいとおもいますか。



わからない	・ サービス提供の仕方による。
どちらともいえない	・ どのような支援があるか確認した上で検討していきたいと思っています。
どちらともいえない	・ 怪しげなコンサルが暗躍する機会を与えることになるので。
利用したい	・ リハーサルの実施。実際のサーベイヤーの方に率直のご相談できる環境
どちらともいえない	・ 支援サービスが有償か無償か、またどのような支援内容かにより利用したいか否かが変わると思われます。
どちらともいえない	・ 初回の認定に向けた際に事前の実査を受審することで本審査に取り組むことができた経験を振り返ると、支援サービスは初めて認定を受けようとする施設には有効と思います。

【支援のニーズ】

Q 9. NPO法人日本人間ドック健診協会会員サービスコンテンツとして、
「こんなサービスがあったらいいな」「こんなテーマの研修会なら参加したい」等



→詳細は次頁

Q 9. NPO法人日本人間ドック健診協会会員サービスコンテンツ 自由記載 I

1.地域交流会（他9施設から）
2.職種別勉強会(他13施設から)
3.他施設の取組（見学、勉強会など）
4.他施設の見学会(他4施設から)
5.経営コンサル的な支援、情報交換(他2施設から)
6.運営体制の相談(他2施設から)
7.健診システムに関する相談サービス(他6施設から)
8.法令改正等(他2施設から)
9.交換留職（自社の社員と他社の社員を一定期間入れ替えて、交換先企業で実際に業務を経験させる人事研修制度）
10.読影、判定に関する内容
11.少子高齢化がますます進みます。将来の人間ドックの方向性、高齢者に特化した人間ドック基準項目の設定
12.接遇研修会
13.人材紹介
14.集客
15.他施設との意見交換会（同等規模等）
16.昼食の紹介
17.ペーパーレスに特化した受付システムの紹介
18.参加職員の見識を広げ、知識の向上やモチベーションアップにもつながると思うので、開催を希望します
19.施設認定取得の支援サービスにコンサルティングサービス等のコンテンツを追加頂けると、認定取得の対応が円滑になるのではないかと、考えております。
20.顧客エンゲージメント研修、経営層向け意見交換会、T技術者共有サービス
21.健診業界のキャンセルに関する取り扱い基準を定めて欲しい。
22.カスタマーハラスメント対策に関する研修を行って欲しい。

23.健診管理職がさらに上を目指す際の資格取得の支援サービスなど※MMAなど
24.健診に関する情報収集を効率化
25.レントゲン車の見学会
26.健診システムの比較検討会等メーカーを呼んでのプレゼンや特徴的な新機能の紹介など
27.健診システムに関する相談
28.新入社員（新卒 他業種からの転職等）向けの基礎講習会 ※例：健診とは、特定健診とは、労安法とは、健保とは等
29.健診システムに関するもの、人間ドック健診に関連した各学会の最新ガイドライン、オプション検査等価
30.格設定に関する情報提供、健診関連資格取得に関する情報提供等
31.健康診断施設及び健康保険組合様との交流会
32.会員機関内での掲示板の設置
33.加入会員施設同士の意見、情報交換 勉強会
34.精度変更時（特定健診や医療政策など）の研修会
35.職種別（特にコメディカル）の勉強会
36.スタッフのモチベーションを向上のためにも、他施設の見学会や地域交流会があればいいと思います。
37.お題から少し外れるが、会員特典と言う意味で、例えば、”人間ドック学会の施設認定（機能評価）を受けている施設で人間ドックを受けましょう！”みたいなテレビコマーシャル等を展開していただけたら、会員であるメリットをダイレクトに享受できると考える。
38.PRAに関する内容未収金対策に関する内容
39.CS向上への取り組み事例およびその成果
40.10年後の健診の在り方の研修会 など